第109回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和7年度第7回薬 事審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会

2025 (令和7) 年10月24日

資料2-4

## 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチンの 副反応疑い報告状況について

## 〇乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン

商 品 名 : ①おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」

②乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン「タケダ」

製 造 販 売 業 者 : ①第一三共株式会社(旧 北里第一三共ワクチン株式会社)

②武田薬品工業株式会社

販 売 開 始 : ①昭和57年5月

②昭和58年1月

効 能 ・ 効 果 : おたふくかぜの予防

### 副反応疑い報告数

(令和7年4月1日から令和7年6月30日報告分まで:報告日での集計)

令和7年4月1日から令和7年6月30日までの医療機関への納入数量を接種可能のべ人数とし、副反応疑い報告頻度を計算したものは以下のとおり。

※報告日での集計のため、以下の件数には接種日や発生日が対象期間以前の症例も含まれている。

(単位:例)

				(十二・1/1/			
		製造販売業者からの報告	医療機関からの報告				
	接種可能のべ人数 (回数)	報告数 ():接種日が左記期間内 の症例	報告数 () :接種日が左記期間内の症例				
		報告頻度	報告頻度	うち重篤			
		4	6	4			
令和7年4月1日	377, 453	(1)	(3)	(1)			
~令和7年6月30日	377, 453	0. 0011%	0. 0016%	0. 0011%			
		(0. 0003%)	(0. 0008%)	(0. 0003%)			
(参考) 平成25年4月1日~	16, 494, 449	276	387	279			
<b>令和7年6月30日</b>	10, 434, 443	0. 0017%	0. 0023%	0. 0017%			

<sup>※1</sup>人あたり0.5mL接種されたと仮定した。

### 令和7年4月1日から令和7年6月30日報告分の重篤例の転帰

(単位:例)

		製	<b>造販売業</b> 者	<b>針からの</b> 軸	<b>设告</b>			医療機関からの報告					
	回復/軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	回復/ 軽快	未回復	後遺症	死亡	不明	計	
重篤例数	4	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	4	

#### (注意点)

※ 製造販売業者からの報告には、複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

<sup>※</sup> 副反応疑い報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。

はない。 ※ 「重篤」とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものが報告対象とされているが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告される ケースがある。

<sup>※</sup> 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

<sup>※</sup> 製造販売業者からの報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

### 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチンの副反応疑い報告状況

平成25年4月1日から令和7年6月30日までの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

十成23年4月1日から71和7年0月30日までの報	医療機関からの報告		平成25年4月~令和7年3月までの企業報告と医療機関重篤 症例の総計数			
報告数	275	272	547	4	4	8
症状別総件数 症状名の種類	399	379	778 症状の種	類別件数 7	4	11
胃腸障害						
<u>クローン病</u> 悪心		2	2			
炎症性腸疾患		1	1			
下頻部痛		1	1			
急性膵炎		3				
血便排泄 口腔内出血	1	1	1 2			
口唇紅斑		1	1			
耳下腺腫大 上部消化管出血	1	2	3			
舌血腫	1		1			
垂液腺痛 便秘	1	1	1			
嘔吐		3	3			
一般・全身障害および投与部位の状態 異常感	1		1			
死亡			1			
状態悪化 注射部位紅斑	1		1			
乳児突然死症候群	1	10	1			
発熱 歩行障害	17 2	13	30 5			
步行不能 末梢性浮腫		1	1			
薬効欠如	2		2			
感染症および寄生虫症 RSウイルス肺炎			1			
ウイルス感染	2		2			
ウイルス性胃腸炎 ウイルス性髄膜炎	1 8	6	1 14			
ウイルス性髄膜脳炎	3	2	5			
ウイルス性脳炎 エンテロウイルス感染	1		1			
ノロウイルス性胃腸炎		1	1			
ヘルペス脳炎 ムンプス	1	1 4				
ムンプス性髄膜炎	13	16	29			
ムンプス性精巣炎 ムンプス難聴		1	1			
ムンプス脳炎	2		2			
レンサ球菌性咽頭炎 ワクチン接種後の麻疹	1		1			
胃腸炎	1		1			
骨髄炎 細菌性髄膜炎		1	1			
耳下腺炎	1	6	7			
腎盂腎炎 水痘	1	1				
髄膜炎 精巣炎	6	20 4				
精巣上体炎	1	1	2			
帯状疱疹 中耳炎	2	1	1 2			
突発性発疹	3		3			
脳炎   膿尿	13	20	33			
敗血症		1	1			
肺炎 肺炎球菌性菌血症	3	1	4			
肺炎球菌性髄膜炎		2				
<u>蜂巢炎</u> 麻疹	2		2			
無菌性髄膜炎 肝胆道系障害	105	131	236	2	2	4
肝障害	1		1			
眼障害 眼脂		1	1			
眼痛	1		1			
結膜充血 視神経障害	1	1	1			
筋骨格系および結合組織障害						I
下顎腫瘤 筋膜炎	1		1			
筋力低下	1		1			
限局性筋炎 線維筋痛	1	1	1			
血液およびリンパ系障害	1					
リンパ節炎リンパ節症	1 2	1	1 3			
血小板減少症 血小板減少性紫斑病	1		1 9			-
再生不良性貧血	1		1			
自己免疫性溶血性貧血 播種性血管内凝固	1		1			
免疫性血小板減少症	21	4	·			
<u>血管障害</u>			1			
出血	1		1			
出血性ショック 川崎病	4	1 9	13			
呼吸器、胸郭および縦隔障害	*					I
咽頭紅斑 咳嗽		1 4				1
呼吸窮迫	1	7	1			'
上気道の炎症 息詰まり	1	1	1			
低酸素症	1		1			
<u>肺水腫</u> 鼻出血	1		1			
鼻漏		2	2			
頻呼吸	1		1			

To an and the second se				•		
端息 耳および迷路障害	2		2			
一過性難聴	1		1			
感音性難聴	2	1	3			
耳介腫脹	1		1			
片耳難聴 傷害、中毒および処置合併症		2	2			
気管閉塞	1		1			ı
<b>社傷</b>		1	1			
転倒		1	1			
心臓障害						
心停止	1		1			
心肺停止	3		3			
頻脈	Ű	1	1			
不整脈	2		2			
神経系障害						
ギラン・バレー症候群 ジスキネジア	2		3 2			'
てんかん重積状態	3		3			
意識レベルの低下	1		1			
意識消失	3					
意識変容状態 間代性痙攣	3		<u>5</u> 3			
眼振	1		1			
顔面麻痺	2	1	3			
起立不耐性		1	1			
急性散在性脳脊髓炎	6					
急性弛緩性脊髓炎 傾眠	1	1	1			
損職 抗ミエリンオリゴデンドロサイト糖蛋白抗体関連疾患	'		<u> </u>		1	1
自己免疫性脳炎	2	2	4			<u> </u>
自己免疫性脳症	1		1			
失語症 		1	1			
小脳性運動失調 全身性強直性間代性発作	3	3 2				
<u>主身性強直性间代性</u> 死作 低酸素性虚血性脳症	1		1			
点頭てんかん		2	2			
頭痛	1	4				
熱性痙攣	13					
脳症   脳浮腫	13		23			
浮動性めまい	1		1			
免疫介在性神経障害	1		1			
痙攣発作 (845) たな見解標準	12	12	24			
腎および尿路障害 ネフローゼ症候群	1		1			T
急性腎障害	1		1			
排尿異常	1		1			
排尿困難	1		1			
<u>膀胱血腫</u> 生殖系および乳房障害	1		1			
精巣痛		1	1			I
精神障害		,,				
気分変化	1		1			
失見当識		1	1			
代謝および栄養障害 1型糖尿病		1	1			I
栄養補給障害	1		1			
過小食	1		1			
高カリウム血症	1		1			
食欲減退 代謝性アシドーシス	1		1			
脱水	2		2			
中枢性塩類喪失症候群	1		1			
低ナトリウム血症	2		2			
糖尿病 内分泌障害		1	1			l .
抗利尿ホルモン不適合分泌		2	2			
皮膚および皮下組織障害						
丘疹	1		1			
紅斑 水疱性皮膚炎	2		<u>2</u> 1			1
多形紅斑	3					
発疹	4	3	7			
斑状丘疹状皮疹		1	1			
皮下出血		1	1			
麻疹様発疹 蕁麻疹	1	1	1 2			1
免疫系障害	'					<u> </u>
アナフィラキシーショック	3					
アナフィラキシー反応	10		16	1		1
過敏症 良性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびボリーブを含む)	1		1			L
民性、悪性および詳細不明の新生物(嚢胞およびボリーノを含む) T細胞型急性白血病	1		1			1
神肥空急性白血病   非ホジキンリンパ腫	1		1			
臨床検査			·			
アミラーゼ増加		1	1			
ヘモグロビン減少		1				
血小板数減少 昏睡尺度異常	1	1	1			
企電図QT延長	1		1			
	1		1			1
体温上昇						
体温上昇 白血球数増加	1		i			

# 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 重篤症例一覧 (令和7年4月1日から令和7年6月30日までの報告分)

## 製造販売業者からの報告

No	年齢 (発生時)	性別	接種日	ワクチン名 (ロット番号)	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	企業重篤度	転帰日	転帰内容
1	16ヶ月	女	2025年4月3日	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン(鳥居株)*武田薬品(G963)	なし		なし	無菌性髄膜炎	2025年4月22日	19	重篤	2025年5月12日	回復
2	9歳	男	不明	組織培養不活化狂犬病ワクチン*KM バイオロジクス	あり	乾燥弱毒生おたふくかぜ ワクチン	なし	ギラン・バレー症候群	不明	不明	重篤	不明	軽快
3	乳幼児	男	不明	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	なし			抗ミエリンオリゴデンドロサイト糖蛋白 抗体関連疾患	不明	不明	重篤	不明	回復
			·	-				-	·		•	·	
4	15歳	男	不明	おたふくかぜ生ワクチン「第一三共」	なし		なし	無菌性髄膜炎	不明	不明	重篤	不明	軽快

# 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 重篤症例一覧 (令和7年4月1日から令和7年6月30日までの報告分)

## 医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業 者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	1歳	女	2024年10月15日	おたふくかぜ	ZVA076A	第一三共	あり	水痘(阪大微研、VZ359) プレベナー20(ファイ ザー、HR4293)		無菌性髄膜炎 ※ウイルス同定検査: Qprobe real-time 法を実施。ムンプスウイルス遺伝子は 検出されず陰性判定。	2024年11月3日	19	関連あり	重い	2024年11月15日	回復
2	5歳	女	2025年3月29日	おたふくかぜ	ZVA081A	第一三共	なし		食物アレルギー、蕁麻疹	紅斑、咳嗽、蕁麻疹、咽頭紅斑	2025年3月29日	0	関連あり	重い	2025年3月31日	回復
3	1歳	男	2025年4月8日	MR	MR372	阪大微研	あり	水痘(阪大微研、VZ371) おたふくかぜ(武田薬品工 業、G962)	乳アレルギー	アナフィラキシー反応	2025年4月8日	0	評価不能	重い	2025年4月9日	回復
4	36歳	男	2025年3月11日	おたふくかぜ	ZVA081A	第一三共	あり	MR(阪大微研、MR371)		無菌性髄膜炎 ※ウイルス同定検査: Qprobe real-time 法を実施。星野ワクチン株と判定。	2025年3月31日	20	関連あり	重い	2025年4月13日	回復

# 乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン 非重篤症例一覧 (令和7年4月1日から令和7年6月30日までの報告分)

#### 医療機関からの報告

No	年齢 (接種時)	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業 者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発 生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	1歳	女	2025年5月16日	水痘	VZ374	阪大微研	あり	おたふくかぜ(武田薬品工 業、G965)	なし	皮疹	2025年5月17日	1	評価不能	重くない	不明	不明
2	20歳	男	2025年5月19日	MR	MR375	阪大微研	あり	おたふくかぜ(武田薬品工 業、G962) DPT(阪大微研、3E25A) イモバックスポリオ(サノ フィ、W2A95)	急性骨髄性白血病に対	40℃の発熱、両手足の皮疹、右腋窩リンパ節腫脹	2025年5月29日	10	関連あり	重くない	2025年6月6日	回復